

米子工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	文学 I
科目基礎情報						
科目番号	0062		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	総合工学科（機械システムコース）		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	中村邦生『はじめての文学講義―読む・書く・味わう』（岩波ジュニア新書）、および授業時にプリントを配布する。					
担当教員	辻 秀平,羽原 卓也					
到達目標						
1. 文学作品に触れ、文学に関する知識を身に付け、その表現の豊かさへの理解を深めることができる。 2. 文学と実社会との関わりについて考察し、文学と歴史・文化・社会問題との関係性について理解を深めることができる。 3. 文学作品における様々な言語表現を読み取り、自分なりの読みを深めることができる。加えて、他者の価値観を尊重しながら、自らの考えを分かりやすい言葉で伝え合うことができる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		文学作品に触れ、文学に関する知識を身に付け、その表現の豊かさへの理解を十分に深めている。	文学作品に触れ、文学に関する知識をある程度身に付け、その表現の豊かさへの理解を深めている。	文学に関する知識を身に付けておらず、その表現の豊かさへの理解を深めていない。		
評価項目2		文学と実社会との関わりについて深く考察し、文学と歴史・文化・社会問題との関係性について理解を十分に深めている。	文学と実社会との関わりについて考察し、文学と歴史・文化・社会問題との関係性について理解をある程度深めている。	文学と実社会との関わりについて考察できておらず、文学と歴史・文化・社会問題との関係性について理解を有していない。		
評価項目3		文学作品における様々な言語表現を読み取り、自分なりの読みを深めることが十分にできている。加えて、他者の価値観をよく尊重しながら、自らの考えを分かりやすい言葉で伝え合うことができている。	文学作品における様々な言語表現を読み取り、自分なりの読みを深めることが一定程度できる。加えて、他者の価値観を尊重しながら、自らの考えを分かりやすい言葉で伝え合うことに努めている。	自分なりに文学作品を読み解く意欲がなく、他者の価値観を尊重しながら、自らの考えを分かりやすい言葉で伝え合おうとしていない。		
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A						
教育方法等						
概要	文学作品を読むための初歩的な知識を学ぶ。普段意識しないが、私たちは身の回りのあらゆる物事を「物語」として理解している。日常会話から広告やニュースまで、さらには自分の思考や価値観までもが「物語」である。「物語」のジャンルである文学作品を読むことは、そうした無数の「物語」を読み解き、今を生き抜くための良い訓練となるだろう。扱う作品は日本文学（古典・近現代）が中心だが、海外文学やサブカル作品を紹介する場合もある。					
授業の進め方・方法	教科書として、中村邦生『はじめての文学講義―読む・書く・味わう』（岩波ジュニア新書）を使用する。また必要に応じてプリントを配布する。授業では教科書の内容を踏まえながら、様々な文学作品を例に、その読み方を考えてみる。 第1・2週ではガイダンスと授業の導入を行い、第3週から本格的に授業を展開する。授業は基本的に講義形式だが、少人数によるグループ・ディスカッションを行う場面を多く取り入れる。グループの編成や、ディスカッションの方法等は、第1・2週の授業で指示する。					
注意点	・他の学生に迷惑をかけたり、授業の規律を乱すような学習態度や行動のないよう、気を付けてもらいたい。 ・質問は休憩時間や放課後に随時受け付ける。また担当教員の「オフィスアワー」の時間を告知するので、分からないことは遠慮せず積極的に質問すること。 ・図書館を積極的に利用すること。授業では、授業内容に関連する本を紹介することがある。教科書の内容だけでなく、本を手掛かりにして積極的に疑問を投げかけて欲しい。 ・文学作品の解釈に「正解」や「優劣」は存在しない。授業では発言の機会を多く設けるので、積極的に自分の意見を述べるとともに、他者の意見を理解し尊重する意識を持つこと。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業のガイダンス（授業の進め方・学習方法・成績評価等の説明） 導入①：あなたはどんな「物語」が好きですか？	授業の流れを把握し、「物語」に対する基礎的な知識を身につけることができる。		
		2週	導入②：「物語」ってなに？それって何の役に立つの？	自分の経験を手掛かりに、「物語」の意義や可能性について考察を深めることができる。		
		3週	「文学」の基礎知識①：日本語の歴史、古典の名作	日本語や日本文学の成り立ちについて、理解を深めることができる。		
		4週	「文学」の基礎知識②：近現代日本文学140年の歴史とその世界	明治から令和までの日本文学について、理解を深めることができる。		
		5週	「文学」の基礎知識③：文学とアダプテーション	映像作品を手掛かりに、文学への理解を深めることができる。		
		6週	作品に触れてみる①：「行間」を読み解く	テキストを読み、与えられた情報をもとに、作品の理解を深めることができる。		
		7週	作品に触れてみる①：「行間」を読み解く	グループ内で意見を交換し、作品の理解を深めるとともに、伝える力を高めることができる。		
		8週	中間レポート	これまでの内容について理解し、自分の意見をまとめることができる。		
	2ndQ	9週	作品に触れてみる②：「謎」を読み解く	テキストを読み、与えられた情報をもとに、作品の理解を深めることができる。		
		10週	作品に触れてみる②：「謎」を読み解く	グループ内で意見を交換し、作品の理解を深めるとともに、伝える力を高めることができる。		

		11週	作品に触れてみる③：「愛」を読み解く	テキストを読み、与えられた情報をもとに、作品の理解を深めることができる。
		12週	作品に触れてみる③：「愛」を読み解く	グループ内で意見を交換し、作品の理解を深めるとともに、伝える力を高めることができる。
		13週	作品に触れてみる④：「生命」を読み解く	テキストを読み、与えられた情報をもとに、作品の理解を深めることができる。
		14週	作品に触れてみる④：「生命」を読み解く	グループ内で意見を交換し、作品の理解を深めるとともに、伝える力を高めることができる。
		15週	発展：さまざまな「物語」の世界	様々なジャンルの芸術作品への理解を深めることができる。
		16週	前期末試験	前期末試験までの内容について理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	前期末試験	提出課題	中間レポート	その他	合計
総合評価割合	40	30	30	0	100
基礎的能力	40	30	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0